



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社ユニテッドアローズ 上場取引所 東
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）松崎 善則
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員 CFO（氏名）中澤 健夫 TEL 03-6804-2820
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	73,713	8.0	2,378	△19.5	2,508	△26.2	1,127	△40.6
2025年3月期中間期	68,265	11.9	2,953	66.4	3,397	55.6	1,898	33.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,061百万円（△44.9%） 2025年3月期中間期 1,926百万円（39.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	40.84	—
2025年3月期中間期	68.77	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	71,992	37,634	52.3	1,362.57
2025年3月期	70,142	37,821	53.9	1,369.92

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 37,634百万円 2025年3月期 37,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	46.00	63.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	54.00	74.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,677	9.8	9,000	12.7	9,034	5.8	5,084	18.7	184.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	30,213,676株	2025年3月期	30,213,676株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,593,349株	2025年3月期	2,609,152株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	27,612,826株	2025年3月期中間期	27,600,676株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかに回復しているものの、アメリカの政策動向や国際情勢による世界経済への影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いています。衣料品小売業界は、賃上げによる消費拡大期待がある一方、原材料や人件費などのコスト上昇や、恒常的な物価上昇による消費マインドの下振れリスクに加え、記録的猛暑による秋物動向の遅れがみられるなど、厳しい経営環境にあります。

このような状況の下、当社は2033年3月期を最終年度とする長期ビジョン「美しい会社ユニテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」とともに、その達成を目指して2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「感動提供 お客様と深く広く繋がる」を策定し、3つの戦略を推進しています。

中期経営計画最終年度となる2026年3月期は「新しい価値提供を加速する」を経営方針に掲げ、3つの戦略により長期ビジョンと中期経営計画の実現を目指しています。

1つ目のUA CREATIVITY戦略では、既存事業の成長拡大、ブランド力の強化、(株)コーエンの再成長に向けて取り組んでいます。

既存事業の成長拡大では、長い夏を前提としたシーズンMDに修正したうえ、盛夏・晩夏商材の拡充と連動させ、夏後半から初秋にかけて全社ブランド横断で宣伝販促企画を複数展開したこと等が奏功し、単体の小売+ネット通販既存店売上高が前年同期比105.1%と安定的な売上を確保しました。

売上総利益率については、単体において第2四半期にセール売上が増加したこと等により前年同期を下回ったものの、セール施策における価格設定の精緻化が寄与したことに加えて、株式会社コーエンにおいて前連結会計年度の在庫評価損拡大の反動を含めて改善が進んだことにより、2015年3月期の中間連結会計期間以来の水準を維持しました。

ブランド力の強化に向けて、主力事業で著名人を起用した広告宣伝の展開を継続したほか、新規出店や既存店改装によりブランドの認知拡大やブランドイメージの向上に伴う売上拡大につなげています。

株式会社コーエンは、売上総利益率の改善が図れたものの、不安定な気温動向や前連結会計年度に実施した大型店退店等の影響により減収となりました。なお、本日発表の通り、株式会社コーエンについては当社が保有する全株式をジーエット株式会社に譲渡することに関し、具体的な協議を進める旨の基本合意書を同社との間で締結することを決議しております。

2つ目のUA MULTI戦略では、業容拡大に向けた事業開発やグローバル展開の拡大によって、当社の価値提供の領域を広げ、お客様層を拡大させることを目指しています。

新たなお客様層の拡大やテイスト軸の課題解決に向けて、韓国発ライフスタイルセレクトショップ「NICE WEATHER(ナイスウェザー)」の実店舗や期間限定店舗の出店等を進めています。韓国発バッグブランド「OSO!」では日本国内初のブランド単独実店舗を2店舗オープンしたほか、主力事業の実店舗における取り扱いも拡大しています。両ブランドとも、若年層を含む新たな顧客層の開拓に貢献しています。

グローバル展開の拡大に向けて、2025年1月に出店した中国大陸初の直営店が計画を上回る好調な売上実績を上げており、今後も中国の一線都市を中心に店舗準備を進めます。2025年9月には自社運営の越境ECサイト「ユニテッドアローズ グローバル オンライン」をオープンし、海外における当社ブランドの認知向上および販路拡大を目指します。

3つ目のUA DIGITAL戦略では、OMO(*)の推進とサプライチェーンの最適化を軸に取り組んでいます。

OMOの推進では、引き続き新会員制度が順調に稼働しており、会員売上が前年同期から2桁増、年間で複数回購入される会員の比率も向上するなど、各重要指標が伸長しています。前連結会計年度にリニューアルした自社ECアプリの活用も進み、アクティブユーザー数や商品閲覧数等が増加、アプリ経由売上にもつながっています。

サプライチェーンの最適化では、新商品管理基幹システムが2025年4月より稼働しています。商品原価に関する情報の一元管理によって最適な生産背景を構築することで調達コストの抑制を図るほか、各店舗やネット通販サイトへの在庫配分の精度が向上することで販売機会ロスの縮小や物流コストの低減等が見込めます。

(*) OMO: Online Merges with Offlineの略。オンラインとオフラインの融合を指す。

出退店については、トレンドマーケットで10店舗の出店、1店舗の退店、ミッド・トレンドマーケットで4店舗の出店を実施した結果、当中間連結会計期間末の小売店舗数は224店舗、アウトレットを含む総店舗数は251店舗となりました。

連結子会社の状況については、株式会社コーエン(決算月:1月)は減収、海外子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)は増収となり、悠艾(上海)商貿有限公司(決算月:12月)は当連結会計年度より売上を計上しております。出退店については、株式会社コーエンは2店舗の出店により当中間連結会計期間末の店舗数は76店舗、台湾聯合艾諾股份有限公司は3店舗の出店により同期間末の店舗数は13店舗、悠艾(上海)商貿有限公司は1店舗の出店により同期間末の店舗数は1店舗となっています。

以上により、グループ全体での新規出店数は20店舗、退店数は1店舗、当中間連結会計期間末の店舗数は341店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比8.0%増の73,713百万円となりました。売上総利益は前年同期比8.0%増の38,821百万円となり、売上総利益率は前年同期と同水準の52.7%となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝強化による宣伝販促費、賃上げおよび人員増に伴う人件費、出店増および本社移転による減価償却費のほか、システム償却費等が増加したことで、前年同期比10.4%増の36,443百万円、売上高構成比は前年同期差1.1ポイント増の49.4%となりました。

以上により、当中間連結会計期間の営業利益は2,378百万円(前年同期比19.5%減)、経常利益は2,508百万円(前年同期比26.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,127百万円(前年同期比40.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して868百万円(1.9%)増加の45,685百万円となりました。これは、商品が6,130百万円増加した一方、現金及び預金が3,721百万円、未収入金が2,359百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して981百万円(3.9%)増加の26,306百万円となりました。これは、店舗の出店などにより有形固定資産が2,211百万円増加した一方、無形固定資産が328百万円、差入保証金が516百万円、繰延税金資産が358百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,787百万円(6.4%)増加の29,555百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,831百万円、短期借入金が2,872百万円それぞれ増加した一方、未払金が2,149百万円、未払法人税等が1,929百万円、賞与引当金が704百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して249百万円(5.5%)増加の4,801百万円となりました。これは、資産除去債務が169百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して186百万円(0.5%)減少の37,634百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益により1,127百万円増加した一方、配当金の支払により1,275百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2025年5月8日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,665	2,944
受取手形及び売掛金	185	187
商品	24,191	30,320
貯蔵品	539	560
未収入金	12,301	9,942
関係会社短期貸付金	3	5
その他	930	1,726
流動資産合計	44,816	45,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,919	7,119
機械及び装置(純額)	469	1,224
土地	569	569
建設仮勘定	230	71
その他(純額)	1,016	1,430
有形固定資産合計	8,205	10,416
無形固定資産		
ソフトウェア	1,663	4,843
ソフトウェア仮勘定	4,113	605
その他	28	27
無形固定資産合計	5,804	5,476
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	23	20
差入保証金	7,624	7,108
繰延税金資産	2,204	1,846
その他	1,464	1,440
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	11,314	10,414
固定資産合計	25,325	26,306
資産合計	70,142	71,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,636	15,467
電子記録債務	929	877
短期借入金	1,028	3,900
未払金	7,133	4,985
未払法人税等	2,633	703
賞与引当金	2,043	1,339
役員賞与引当金	48	22
株式給付引当金	-	90
資産除去債務	211	140
その他	2,103	2,029
流動負債合計	27,767	29,555
固定負債		
資産除去債務	4,407	4,576
株式給付引当金	92	27
その他	53	198
固定負債合計	4,552	4,801
負債合計	32,320	34,357

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,538	4,538
利益剰余金	37,594	37,446
自己株式	△7,040	△7,012
株主資本合計	38,122	38,002
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△300	△367
その他の包括利益累計額合計	△300	△367
純資産合計	37,821	37,634
負債純資産合計	70,142	71,992

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	68,265	73,713
売上原価	32,312	34,891
売上総利益	35,953	38,821
販売費及び一般管理費	32,999	36,443
営業利益	2,953	2,378
営業外収益		
受取利息	0	5
為替差益	-	124
受取賃貸料	6	4
持分法による投資利益	300	-
移転補償金	194	-
その他	63	53
営業外収益合計	566	187
営業外費用		
支払利息	5	15
為替差損	92	-
賃貸費用	6	0
持分法による投資損失	-	2
その他	17	38
営業外費用合計	121	57
経常利益	3,397	2,508
特別損失		
固定資産除却損	178	61
減損損失	209	426
本社移転費用	-	70
特別損失合計	388	558
税金等調整前中間純利益	3,009	1,949
法人税、住民税及び事業税	985	462
法人税等調整額	125	359
法人税等合計	1,110	821
中間純利益	1,898	1,127
親会社株主に帰属する中間純利益	1,898	1,127

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,898	1,127
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	28	△66
その他の包括利益合計	28	△66
中間包括利益	1,926	1,061
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,926	1,061
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,009	1,949
減価償却費	565	846
無形固定資産償却費	228	633
長期前払費用償却額	372	254
減損損失	209	426
賞与引当金の増減額(△は減少)	123	△703
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	-
受取利息及び受取配当金	△0	△5
支払利息	5	15
移転補償金	△194	-
本社移転費用	-	70
売上債権の増減額(△は増加)	1,403	2,305
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,556	△6,136
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65	△379
仕入債務の増減額(△は減少)	4,422	3,778
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△722	△938
持分法による投資損益(△は益)	△300	2
その他	72	△81
小計	3,573	2,012
利息及び配当金の受取額	0	5
利息の支払額	△5	△15
移転補償金の受取額	194	-
本社移転費用の支払額	-	△124
法人税等の支払額	△455	△2,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,308	△467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△911	△4,101
資産除去債務の履行による支出	△28	△114
無形固定資産の取得による支出	△1,410	△806
長期前払費用の取得による支出	△115	△353
差入保証金の差入による支出	△615	△174
差入保証金の回収による収入	15	688
関係会社短期貸付金の純増減額(△は増加)	-	△1
関係会社長期貸付金の回収による収入	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,066	△4,861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,698	2,872
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△1,052	△1,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,645	1,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,889	△3,727
現金及び現金同等物の期首残高	6,486	6,655
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,376	2,927

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。